

平成24年度佐賀環境フォーラム実績報告書

1 実施体制

佐賀大学、学生スタッフ、市民スタッフ、佐賀市で構成する実行委員会形式

2 受講状況等

(1) 受講要件

高校生以上

(2) 受講料 (※スポット受講は講義のみ)

- ◇ 一般 : 5,000円
- ◇ 学生 : 1,500円 ※佐賀大学生は無料
- ◇ 法人 : 5,000円(1口) ※1口で1人枠とし、誰が受講しても可
- ◇ スポット受講者 : 1講義につき 500円
- ◇ スポット受講者(学生) : 1講義につき 200円

(3) 参加者数 ※[昨年度参加者数]

- ◇ 一般 : 28名[40名]
- ◇ 学生 : 7名[2名]
- ◇ 法人 : 6社[7社]
- ◇ スポット(学生) : 1名[1名]
- ◇ スポット : 24名[12名]
- ◇ 佐大生(身近な環境) : 41名[25名]
- ◇ ネット授業(地域の環境) : 40名[新規]

3 事業概要

(1) 講義

- ◇ 平成24年5月15日(火)から平成24年7月12日(木)まで
- ◇ 午後6時30分から午後8時まで(※質疑応答:午後8時30分まで)
- ◇ 佐賀大学教養教育2号館 211番教室(本庄キャンパス内)
- ◇ 全12回 ※学生は、佐賀大学生、ネット授業受講者、スポット学生受講生のこと。

講義内容	所属等	講師名	受講者数		
			市民	学生	計
環境問題総論・佐賀環境フォーラムについて	佐賀環境フォーラム実行委員会 事業部長	兒玉 宏樹氏	46	55	101
環境中の放射性物質の分析	佐賀大学 総合分析実験センター R1管理部門 助教	川上 竜巳氏	36	39	75
未来に残そう!和白山濁	和白山濁を守る会 代表	山本 廣子氏	33	46	79
スマートグリッドの最新動向と国際標準化	九州大学大学院 システム情報科学研究院 電気システム工学部門電気エネルギー環境工学講座教授	合田 忠弘氏	39	49	88
太陽電池技術の基礎と次世代の太陽電池の開発について	岡山大学大学院 自然科学研究科 先端基礎科学専攻 教授	池田 直氏	45	40	85
水圏生態系の生物多様性	佐賀大学 低平地沿岸海域研究センター 准教授	片野 俊也氏	39	53	92
里山保全を通じ、都市部と農村部をつなぐ「きびつとの杜」の活動について	きびつとの杜 代表	内山 十郎氏	34	57	91
海洋エネルギーの利用	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 副センター長	永田 修一氏	27	50	77
廃棄物からの微量金属回収	佐賀大学 工学系研究科 先端融合工学専攻 先端融合工学講座 准教授	川喜田 秀孝氏	33	43	76
ミクロの世界の主役「プランクトン」と海洋環境との相互関係について	東京海洋大学 海洋科学部 海洋環境学科 浮遊生物学研究室 准教授	田中 祐志氏	34	42	76
「森・川・海のつながり」を意識した「清流の国ぎふづくり」	岐阜県庁 環境生活部長	秦 康之氏	39	35	74
水素エネルギーの利用	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 教授	門出 政則氏	39	31	70

(2) 体験講座

1) 自然観察会 平成24年6月2日(土)

【内容】 福岡市の和白干潟で野鳥、水生生物観察を実施した。

【目的】 和白干潟の野鳥や自然を観察することで、豊かな自然環境を再認識し、身近な自然環境への関心を高めることを目的としている。

2) ごみ探検隊 平成24年6月16日(土)

【目的】 佐賀大学構内の燃えるごみを再分別することで、佐賀大学のごみの分別方法を見つけてもらい、正しいごみ分別方法を身につけることを目的としている。

【内容】 佐賀大学本庄キャンパス内で出た学部ごとの燃えるごみを7班で再分別し、その調査結果からどうしたら分別が徹底できるかを考察し発表。

さが環境推進センターの松尾氏から、学生向けに佐賀市のごみカレンダーを参考資料として、ごみの分別について説明をいただいた。

参加者数 () 内は昨年度の参加者数

内 容	一般	学生	スタッフ	計
ごみ探検隊	0 (1)	50 (9)	6 (3)	56 (13)
野鳥観察	11 (9)	7 (8)	4 (4)	22 (21)
計	11 (10)	57 (17)	10 (7)	78 (34)

※ごみ探検隊は大雨のため学生のみで開催

(3) 現地見学会

【日時】 平成24年8月9日(木)

【内容】 県内外にある施設等の現地見学。以下の2コースのうち1つを選択。

全2コース / 1コース、2コースとも2ヶ所見学

1コース ①西日本広域リサイクルプラザ

②佐賀大学海洋エネルギー研究センター

2コース ①メガソーラー大牟田発電所 ②大牟田エコタウン

参加者数

コース	一般	学生	スタッフ	計
1コース	3	15	4	22
2コース	12	8	3	23
計	15	23	7	45

(4) ワークショップ (WS)

1) グループWS

参加者がそれぞれの興味関心に沿ってグループに分かれ、グループ毎に研究テーマを決めて研究活動を行った。

参加者数

	一般	学生	計
平成23年度	9	22	31
平成24年度	10	25	36

ア 主な研究内容

① シックスクール【継続：10年目（H15～）】

児童生徒のシックスクール症状を低減させることを目的として、シックスクール症候群について研究する。

②環境教育【継続：5年目（H20～）】

幼保園児を対象とした環境教育を構築することを目的として、幼稚園・保育園等で紙芝居やごみ分別ゲーム等を実施する。

③水環境【継続：8年目（H17～）】

佐賀市域の水環境のあり方について研究することを目的として、佐賀市内の河川などの水質等を調査する。

④チャリツーリズム（旧エコツーリズム）【継続：10年目（H15～）】

佐賀地域の自然や歴史・文化遺産を活用した観光（エコツーリズム）の確立と自転車利用の促進を目的として、佐賀地域の自然や歴史・文化遺産の調査や、イベントでレンタサイクル事業を実施する。

イ 各種会議・発表会

① 全体会 平成24年 7月13日（金） 18:00～19:30

② 中間報告会 平成24年11月25日（日） 13:30～15:00

③ 研究成果発表会

【日 時】平成25年1月26日（土） 13:00～15:30

【出席者】計36名（学生14名、一般15名、佐賀大学教員4名、佐賀市3名）

ウ 研究成果

① シックスクール

佐賀市内の小中学校54校で室内空気を測定し、シックスクールの発生原因や発生場所などについて調査した。原因物質の1つであるホルムアルデヒドが、合板の接着剤が夏場の高温で加水分解され発生しているのではないかと推測される。

②環境教育

城東保育園、嘉瀬保育所を各2回訪問し、紙芝居やごみ分別ゲームなどを行い、園児にどのような変化があったかを調査した。どちらも2回目の訪問では分別ゲームの正解率が向上し、環境教育の成果が確認できた。

また今年度は消費者グループと協力して、ラジオ体操のあとで環境かるたを行うなどの活動を行った。

③水環境

昨年度から引き続き天祐寺川の水環境について調査を行った。

天祐寺川（本庄地区）の水質や絶滅が危惧されているタナゴ類などの水生生物の生息環境などを7ヶ所で調査し、天祐寺川の水環境のデータを得ることが出来た。

④チャリツーリズム

長崎街道沿いの歴史・文化財などの市内の観光地の調査や学内放置自転車を活用した「再生自転車」を使用しバルーン大会と佐賀城下ひなまつりでレンタサイクル事業を実施した。また、長崎街道沿いの観光地の調査の結果を基に、レンタサイクル事業では観光案内を行い、長崎街道沿いの歴史・文化財への観光客の誘致も行った。

2) インターンシップ型WS

今年度で3年目の取り組みで、学生が環境系NPO法人の活動を実際に体験することで、より身近に環境問題について学んだ。

参加者：計2名（すべて佐賀大学生）

ア 派遣先NPO法人の概要

①元気・勇気・活気「三気の会」

自然環境が維持、保全される社会を実現するため、人と環境に優しい無農薬・無化学肥料で安全、安心の農作物作りを目指す有機農業の普及を図っている。

②ビッグ・リーフ

広く一般市民に対して、森林の保全・管理と環境教育に関する事業を行い、社会教育の推進や自然及び環境の保全に寄与することを目的としている。

イ 各種会議・発表会

①全体会 平成24年7月20日（金）18：00～19：30

②活動成果発表会

【日時】平成25年1月26日（土）13：00～15：30

※グループWSの研究成果発表会と同じ日程

ウ 活動成果

①元気・勇気・活気「三気の会」

人と環境にやさしい農作物栽培やごみくい体験を通じて循環型社会とはなにかを学んだ。また、いろいろな作業をする中で下積みや裏方の大変さ、ものづくりに取り組む姿勢などを学んだ。

②ビッグ・リーフ

遊歩道の整備や竹林の整備（伐採）などを行い、身近な環境である森林をとおして、自然環境とその保全活動について知ることができた。

(5) その他イベント（平成「打ち水」夏の陣2012）

広く打ち水の実施を呼びかけることにより、市民や事業所等に対して省エネをはじめ、環境に配慮する意識を向上してもらおうきっかけとした。

【打ち水イベント】

日時：平成24年8月4日（土）15：00～16：30

場所：佐賀城本丸歴史館

参加者：約60名

(6) 終講式

【日時】平成25年1月26日（土）15：30～15：45

【修了者数】

①一般 19名（28名中）②法人 6社（6社中）③学生（佐賀大学以外）2名（7名中）

4 その他（フォーラム関連事業）

（1）「チャリさがさいせい」がグランプリを受賞

第10回全国大学生環境活動コンテスト（ecocon2012）で、ワークショップから派生した学生グループ「チャリさがさいせい」が昨年に続きグランプリを受賞した。

大学内の放置自転車を減らす取り組みや、イベントの際に再生自転車のレンタサイクルを行い、市民の利便性向上や循環型社会の構築を訴える活動が評価された。

（2）河川清掃

佐賀大学本庄キャンパス構内および周辺の河川清掃に取り組んだ。

春と秋に地元自治会（佐大前自治会）と佐賀大学教職員、佐賀環境フォーラム学生スタッフを含む学生等が参加し、実施された。

1) 春の河川清掃

日時 : 平成24年4月22日(日)

参加人数 : 約80名

2) 秋の河川清掃

日時 : 平成24年10月21日(日)

参加人数 : 約80名